

大阪成蹊大学 芸術学部の学生が制作した作品「姉妹」が 第6回フェローズフィルム フェスティバル学生部門で特別招待作品に選出 ～12月17日（日）開催の映画祭にて上映されます～

大阪成蹊大学（大阪市東淀川区/学長 中村 佳正）芸術学部 造形芸術学科 バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース3年生の佐々木 優妃（ささき ゆうき）さんが制作したショートフィルム『姉妹』が、第6回フェローズフィルム フェスティバル学生部門で特別招待作品に選出されました。佐々木さんの作品は、12月17日（日）に東京都渋谷区のユーロライブにて開催される映画祭にて上映され、当日は本人も登壇いたします。

本件のポイント

- ✓本コンペティションは、株式会社フェローズが立ち上げた、4分間のショートフィルムによる学生の為の「短編映画祭」。未来の映画監督や才能あふれるクリエイターの発掘、映像文化・クリエイティブ産業への貢献を目的としている。
- ✓6回目となる本年は、応募数100作品を超え、ドキュメンタリー・ドラマ・アニメなど多様なジャンルの作品が集まった。
- ✓上映イベント、及び授賞式は12月17日（日）、東京都渋谷区のユーロライブにて開催され、本人も登壇。

【第6回 フェローズフィルムフェスティバル学生部門（上映イベント・授賞式）開催概要】

日 時：2023年12月17日（日）12:30開場 / 13:00開演（約3時間半）

会 場：ユーロライブ（東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F）

※入場無料 ※映画祭当日の様子はYouTubeにて生配信されます。

（公式HPはこちら <https://www.fellow-s.co.jp/fff-s/>）

【審査員】

瀬々敬久（映画監督）／清水崇（映画監督）／広山詞葉（女優・プロデューサー）／東紗友美（映画ソムリエ）
／伊藤伴雄（映画プロデューサー）／野儀健太郎（株式会社フェローズ 代表取締役社長）

【制作した学生のコメント】

「どんな時も一緒に生きてきて、お互いのことを何から何まで知っている。けれど、どうしても素直になれなくて、些細なことですぐ喧嘩してしまう。」そんな私自身と実の妹における「姉妹の関係性」から着想を得て、今回実写のショートフィルムを企画・制作しました。

何でもすぐにぶつかってしまうし、素直になれず仲直りの仕方も分からない。友達だったらお互い仲良くなっていない人種かもしれない、それでも一緒にいる。もしかしたら姉妹というものは、ある種「奇跡」のようなものかもしれません。そんな友達とも恋人とも違う独特な距離感を表現するため、本作品には様々な工夫を凝らしました。台詞の行間、演技のニュアンスに「姉らしさ」「妹らしさ」を少しでも感じていただけると嬉しいです。

【大阪成蹊大学芸術学部について】

大阪成蹊大学 芸術学部は、それぞれの将来の夢や目標を叶えるための8コースを擁しています。自分の興味のある分野から芸術を探究し、その成果を社会で活かしていくには、専門性のある技術の修得はもちろん、豊かな人間力を養うことも必要です。社会の中で芸術やデザインの果たす役割について考え、その可能性を拓くことのできる人材を育成しています。



▲ 作品ポスター

< 取材申し込み・お問い合わせ先 >

大阪成蹊大学 広報統括本部 担当：長坂・草野

大阪市東淀川区相川3丁目10番62号 TEL:06-6829-2606 Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp